

議会だより



大型台風18号による冠水（阿波山地内）

10月5日未明から6日にかけて、大型の台風18号が関東を直撃しました。

表紙の写真は、河川氾濫により道路が冠水し、通行止めの阿波山地内です。

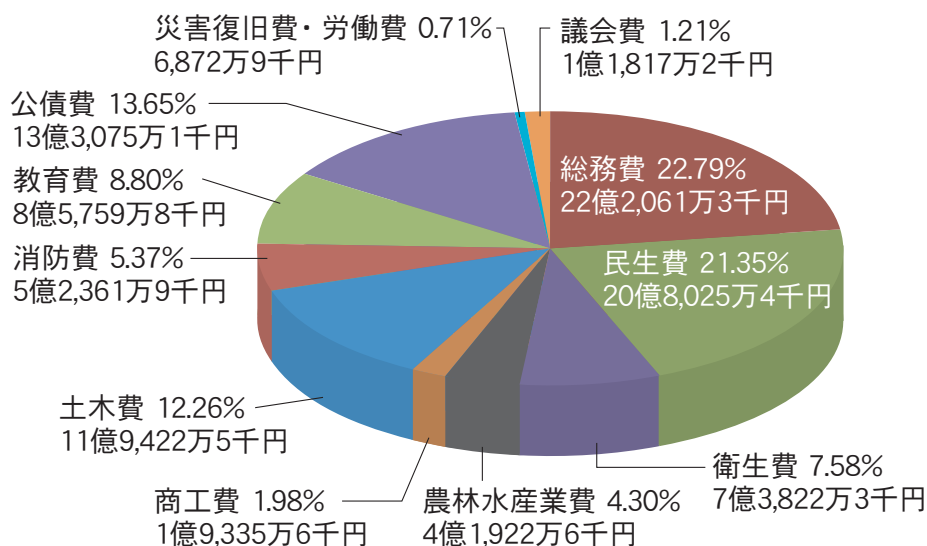
表紙	1 P
平成25年度決算	
一般会計の使いみち	2～3 P
監査委員決算審査報告	4～5 P
決算特別委員会報告	6～7 P
第3回定例会で決まったこと	8～10 P
審議した議案と各議員の賛否	11 P
一般質問 町政を問う	12～13 P
追跡調査・編集後記	14 P

計の使いみち

歳出総額97億4,476万6千円

第3回 定例会

第3回定例会は、9月2日から12日までの11日間の会期で開催し、阿久津前町長退職により町長職務代理者（副町長）から提出された、承認1件・条例改正3件・条例制定3件・契約の締結1件・補正予算5件・決算認定7件・人事案件1件・その他1件が上程されました。上程された議案のうち、決算認定については、決算特別委員会へ付託し、常任委員会ごとに所管分を審議しました。その結果、すべて原案のとおり承認・可決しました。また、請願1件・報告4件がありました。



□ **基金残高** **57億9,436万9千円**

町民一人あたり 約284,540円

□ **町債残高** **106億3,642万3千円**

町民一人あたり 約522,315円

※基金…町が将来のために備えたり、定額の資金を運用するために設けられる資金で、**町の積立預金**のことをいいます。

※町債…町が事業を行うために資金を調達する一つの手段で、**町の借金**のことをいいます。

※町の人口 20,364人
(平成26年9月1日現在)

平成25年度決算一般会

一般会計

歳入（町に入ったお金） 98億8,819万1千円
 歳出（町で使ったお金） 97億4,476万6千円
 歳入歳出差引額 1億4,342万5千円

主に、次のような事業に使われました。

事業名		金額
総務費	町庁舎建設工事	2億7,863万円
	デマンド交通システム運行補助	1,889万9千円
民生費	児童手当支給事業	2億8,401万円
	障害福祉サービス費	2億6,851万7千円
	後期高齢者医療給付費事業	2億2,353万2千円
	保育所入所運営費	2億2,350万7千円
	医療福祉費（マル福）事業	9,055万7千円
	ななかい保育所事業	4,533万5千円
衛生費	収集運搬手数料	3,740万8千円
	各種予防接種事業（集団・個別接種）	3,100万1千円
農林水産業費	生産調整対策補助	3,166万7千円
商工費	健康増進施設「ホロルの湯」指定管理料	4,800万円
	ふれあいの里4人用キャビン3棟更新工事	1,774万5千円
土木費	町営住宅長寿命化工事（繰越）	1億2,486万6千円
	合併支援徳蔵倉見線県工事委託（繰越）	7,700万9千円
	合併支援池の内片山線県工事委託（繰越）	6,060万円
消防費	消防事務負担金（水戸市）	3億5,178万6千円
	県消防救急無線・指令センター整備費負担金	3,689万1千円
教育費	小学校スクールバス運行業務	2,700万円
災害復旧費	城里町桂支所庁舎解体工事（繰越）	2,845万5千円

監査委員決算審査報告

8月4日（月）から7日（木）にわたり、平成25年度一般会計決算と特別会計決算・企業会計決算と事業実施状況について審査を行い、その結果、次の意見を付しての報告がありました。

監査委員 加藤木 昭 博
監査委員 阿久津 則 男

- 収入未済額は年々増加してきている。各課との連携を密にし、滞納者には早期に対応し、悪質な滞納者には、「滞納は絶対に許さない」という毅然とした態度で臨み、法的措置を講ずるなど、さらに実効性のある収納対策を図り、滞納の解消、収納率の向上に引き続き努められたい。
- 合併による普通交付税の特例措置は平成31年度までで、平成27年度以降からは段階的に減額され、大幅な財源不足を生ずることが予想される。また、自主財源の確保が今後の地方自治体運営にとって緊要な課題であり、中長期的な財政計画等により、持続性のある行政運営を図ることが望まれる。
- 公営企業会計は独立採算制が原則であり、収入未済額の増加は経営圧迫の要因にもなる。水道事業会計においても、収入未済額の解消に更に全力で対処するとともに、年間給水量及び年間有収量を的確に把握し、供給単価を考慮し販売損失の抑制に努め、独立採算性を基本とした適正な水道料金体系による企業経営に、より一層努められたい。
- 地方財政にとってはまだまだ厳しい状況が続くことが予想されるので、真の住民サービスとは何かを常に頭に置き、住民が安心して生活できる生活環境を望むものである。

財務比率

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
財政力指数	0.38	0.38	0.39
経常収支比率(%)	85.8	88.7	88.8
公債費比率(%)	9.7	10.7	11.2
起債制限比率(%)	9.1	10.0	7.1
地方債現在高	106億3,642万円	111億1,262万円	116億5,621万円

財政力指数……………「1」に近いほどよく、「1」を超えるほど財源に余裕があることを示す。

経常収支比率……………おおむね70%から80%が標準とされる。

公債費比率……………高いほど自由に使える財源がせばまる。おおむね10%程度

起債制限比率……………過去3年平均で20%以上になると起債の許可が一部制限される。

近隣町村との比較

数字で比べてもかなり厳しい!! 今後の財政はどうなる？

決算見込みを的確に把握して、予算編成及び予算補正を適切に行うなど、限られた財源の効率的な運用を図るよう努めることが大事である。

	財政力指数	経常収支比率(%)	実質公債費比率(%)
城里町	0.376	88.7	14.3
茨城町	0.541	81.6	10.7
大洗町	0.740	94.7	7.1
大子町	0.308	83.3	9.8
常陸大宮市	0.443	87.4	12.4

※「茨城県市町村概況（平成26年度版）」より抜粋

実質公債費比率

率が高いほど財政運営が硬直化していることを示しており、18%以上の団体は地方債の発行に際し許可が必要となり、公債費負担適正化計画を策定し、財政の健全化を図る必要がある。さらに、25%以上の団体は一定の地方債の発行が制限される。

平成25年度特別会計決算

特別会計及び企業会計の決算は以下のとおりです。

会計名		歳入総額	歳出総額	差引額
国保	事業勘定	24億9,395万3千円	24億4,791万4千円	4,603万9千円
	施設勘定	2億5,029万4千円	2億3,345万2千円	1,684万2千円
後期高齢者医療		1億8,204万4千円	1億8,199万6千円	4万8千円
介護	保険事業	17億6,720万9千円	17億6,239万3千円	481万6千円
	サービス事業	501万9千円	501万8千円	1千円
公共下水道事業		11億148万9千円	10億8,210万円	1,938万9千円
農業集落排水事業		3億1,320万5千円	3億669万9千円	650万6千円
水道	収益的収入・支出	6億953万6千円	5億7,105万9千円	3,847万7千円
	資本的収入・支出	2億9,472万7千円	5億5,364万2千円	△2億5,891万5千円

決算特別委員会での主な 質疑・答弁

第3回定例会初日の9月2日、町長職務代理者から提案された平成25年度城里町決算（7会計）について詳細に審査するため、決算特別委員会が設置されました。

決算審査は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



総務民生常任委員会の審議状況

総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の9月3日に委員会を開催し、平成25年度一般会計決算の所管分・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計の決算について審査しました。

（一般会計所管分）

歳入

問 児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助は、どのように使われているのか。

答 専門性強化研修費（職員研修）3名分、広報啓発に使っております。

問 不納欠損は、町民に対して不公平であると思うが、不公平感があると思います。未収金対策には町が一体となって行いたいと思います。

問 ふるさと応援寄附金について、どのような記念品を贈呈しているのか。

答 野菜や漆製品を贈呈しています。

（平成25年度は22名で98万2,000円）

問 災害対策費県補助金の内容について。

答 役場本庁舎、役場望楼桂支所、坪公民館、かつら保育園、高田荘の東日本大震災に伴う瓦礫処理費用に対する県補助で、国庫補助金基本額の30%になります。

歳出

問 七会診療所建設予定地は購入しなかったのか。

答 平成26年4月21日に購入したので、平成26年度事業になります。

問 カーブミラーや防犯灯は町民の要望通り設置できたのか。

答 カーブミラー17基、防犯灯15基を新設しましたが、緊急性がない数力所は平成26年度になりました。

問 国政選挙や県知事選挙より期間の短い町議会議員選挙の需用費が高いのはなぜか。

答 投票用紙の印刷や選挙公報の費用が町負担なので高くなります。

問 廃止代替バス（七会地区く笠間駅）運行補助について、利用者数は。

答 年間2091人利用しました。笠間市とも協議の上、費用対効果等を考え、ゆくゆくは見直しが必要かと思えます。

（国民健康保険特別会計）

問 施設ごとの繰入金金額は。

答 沢山診療所1490万7千円、七会診療所（医科歯科）3902万円です。

（後期高齢者医療）

問 保険料の滞納繰越分の対応は。

答 督促377件、納税相談24件、催告を61人に実

施し、税と同じ仕組みで滞納分を徴収しております。

問 保険料を滞納している方は、医療機関にかからないのか。

答 後期高齢者医療の制度上、国民健康保険のような保険給付のサービス制限(10割自己負担)はありませんので、受診できます。

教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、会期中の9月5日に委員会を開催し、平成25年度一般会計決算の所管分・公共下水道事業・農業集落排水事業・水道事業会計の決算について審査しました。

(一般会計所管分)

歳入

問 河川愛護事業補助金の

内容について。

答 七会地区で合併前から継続して実施している、主に県管理河川の中の除草(草刈り)に対する補助金です。

問 学校給食費の収入未済額と対応について。

答 平成24年度までの滞納額は398万9912円、人数は126人、滞納額の87%を占めています。平成25年度分は59万67



教育産業常任委員会の審議状況

歳出

40円、人数は19人です。今年度から「滞納した場合、給食を停止する」旨記載の給食申込書を保護者から頂いています。

問 鶏足山駐車場の設置後利用者が増えているように思うが、トイレ掃除等どうなっているのか。

答 平成26年3月の利用者数は、平日20日間で延べ804人、1日平均約40人、土日休日11日間で延べ307人、1日平均約28人。トイレは、近辺の方にお願ひして掃除して頂き、きれいな状態を保っています。

問 有害鳥獣捕獲隊補助について、国県補助制度があるなら利用してほしい。

答 鳥獣被害対策実施隊は、県内で笠間市・石岡市・筑西市が実施しています。今年も120頭捕獲していることを踏まえ、検討してまいります。

問 理科教育設備整備事業は単年度事業なのか。

答 平成25年度だけの事業で、各小中学校で顕微鏡・標本・百葉箱・投影機を購入しました。

問 荒廃農地の面積と割合は。

答 面積は194haで、6・7%です。

問 (公共下水道事業特別会計) 震災復旧工事は終了したのか。

答 終了したが、坏地区・阿波山地区で管渠のたわみが調査で分かったため、本年度工事する予定です。

問 (水道事業会計) 有収率が平成24年度と比べて減少している理由は。

答 七会地区の工事が去年終了したが、末端の塩素が出ないので、下赤沢・道木橋・仏国寺の末端でブローしているためと思われます。

問 有収率78・3%は県平均と比べてどうか。

答 県平均は88・9%で、10%以上低いです。管路の漏水箇所を把握しきれないことが原因と思われます。

問 上下水道料金の一括徴収によるメリットは。

答 ①お客様センターをコミセン内に開設したので、町民は1か所で用事が済むこと、②徴収率が上がっている、③1枚の納付書で済むので経済的であることの3点がメリットです。

まったこと



ホロル君

※大樹スタジアムに住む伝説のフクロウ
性格はやさしく、特技は、スタジアムに実をならせること。

平成26年度一般会計補正予算

追加補正 1,135万5千円 総額 113億5,535万5千円に

歳入	金額
地方特例交付金	34万9千円
繰入金	1,100万円
諸収入	6千円

歳出	金額
総務費（町長選挙費）	1,135万5千円

専決処分日 平成26年8月7日

▽専決処分の承認を求めることについて

承認

条例改正

▽城里町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

城里町予防接種健康被害調査委員会
の設置に伴い、委員等の報酬（日額）を規定するため、また、城里町障害児就学指導委員会の名称を「城里町教育支援委員会」に改正したことにより、町条例の一部を改正したものです。

予防接種健康被害調査委員会
委員長 4,000円
委員 3,500円

▽城里町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例

茨城県の医療福祉制度の一部が改正されたことに伴い、平成26年10月1日から小児の給付対象が拡大されることから、町条例の一部を改正したものです。

改正後
・0歳～小学6年生
外来、入院
・中学1年生～中学3年生
入院のみ（入院時に申請）

▽城里町障害児就学指導委員会条例の一部を改正する条例

茨城県障害児就学指導委員会規則の一部が改正されたことに伴い、当委員会の名称を「城里町教育支援委員会」に、また、設置目的等を改正することから、町条例の題名及び一部を改正したものです。

題名改正後
城里町教育支援委員会条例

条例制定

▽城里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

子ども・子育て支援法の一部が改正され施行されたことに伴い、給付対象として確認を受ける施設等の運営基準を条例で定めることが義務付けられたことにより、町条例を制定したものです。

反対討論

藤咲 芙美子 議員

この制度は、長年この国で培ってきた保育制度の公的なシ

第3回定例会で決

ステムを打ちこわし、子どもの保育を事業者と保育者の直接契約にゆだねるものである。わが子の保育内容をよくしようとすれば、業者と保護者との直接契約になり、金額しだいのオプションになり、格差を前提にした条例案といえる。また新制度の小規模施設には必ずしも給食施設が確保されず、子どもの安全面で懸念がある。業者が外部から取り寄せた弁当ではアレルギーなどの対応ができるのか。なによりも子どもの安全が心配である。まさに保育の内容も「金しだい」の状況が市町村に押しつけられている。

私は以上のことからこの条例案には反対だが、町として小規模保育でも子どもを安心して預けられるよう資格のある保育士の確保や子どもたちに安全な食事を出せるような工夫を業者に求める努力を惜しまないほしい。

▽城里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法の一部が改正され施行されたことに伴い、地域型保育事業の認可基準を条例で定めることが義務付けられたことにより、町条例を制定したものです。

▽城里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法の一部が改正され施行されたことに伴い、放課後児童クラブの設備運営基準確認に係る基準等を条例で定めることが義務付けられたことにより、町条例を制定したものです。

人事案件

▽人権擁護委員の推薦について

次の方の推薦に同意しました。

阿久津 紘 氏（小勝）
和 氣 力 氏（徳蔵）

※任期 委嘱された日から3年

契約の締結

▽町道1号線（徳蔵倉見線）合併市町村幹線道路緊急整備支援事業の委託契約

契約金額

1億円

契約の相手側

茨城県知事 橋本 昌

契約の方法

随意契約

その他

▽茨城消防救急無線・指令センター運営協議会規約の一部を変更する規約

地方自治法の一部を改正する法律が施行されることに伴い、設置根拠条文を改正することから、議会の議決を求めたものです。

請願

▽教育予算の拡充を求める請願

採 択

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子供たちへの教育は大変重要であるため、請願を採択し、少人数学級の推進、義務教育費国庫負担制度の堅持、震災からの教育復興のための予算措置の継続を要望する意見書を国へ提出しました。

平成26年度補正予算

一般会計

追加補正 574万7千円

総額 113億6,110万2千円に

歳入の主なもの

地方交付税	1億4,057万円
繰入金	△1億5,800万円
繰越金	△1,555万1千円
町債	3,636万2千円

歳出の主なもの

議会費	119万6千円
総務費	△3,738万2千円
民生費	1,735万円
衛生費	1,366万9千円
農林水産業費	667万1千円
土木費	322万円

特別会計（4事業特別会計）

会計名		補正額	補正後の額
国保	事業勘定	31万7千円	25億5,962万3千円
	施設勘定	334万2千円	2億4,647万4千円
介護	保険事業勘定	148万3千円	17億3,889万1千円
公共下水道事業		△93万2千円	11億4,831万2千円
農業集落排水事業		186万1千円	2億8,112万3千円

議会を傍聴してみましよう！

傍聴者報告

第3回定例会（9月2日～12日まで開催） 27人

次回の定例会は、**12月9日**からの予定です

（コミュニティセンター城里1階 サークル室の予定）

傍聴希望当日、コミュニティセンター城里1階の管理事務室で受付簿に住所・氏名等を記入後、傍聴券を交付します。**定員は先着順で30人**です。

日程など詳しいことは議会事務局へ

TEL.029-288-3111（内線 300）

審議した議案と各議員の賛否

第3回定例会の議案等の表決を、賛成は○、反対を×で表示してあります。

議案名	藤咲美子	片岡藏之	蘭部一	余水紀夫	三村孝信	河原井大介	関誠一郎	阿久津則男	桐原健一	小林祥宏	南條治	杉山清	小松崎三夫	鯉淵秀雄	根本正典	小坏孝
専決処分（平成26年度城里町一般会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長のため採決に加わっていない	○	○	○
城里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
城里町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
城里町障害児就学指導委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
城里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
城里町家庭的保育事業等（地域型保育事業全般）の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
城里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
町道1号線（徳蔵倉見線）合併市町村幹線道路緊急整備支援事業の委託契約	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
茨城消防救急無線・指令センター運営協議会規約の一部を変更する規約	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成26年度城里町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○
平成26年度城里町国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成26年度城里町介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成26年度城里町公共下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成26年度城里町農業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成25年度城里町一般会計決算認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成25年度城里町国民健康保険特別会計決算認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成25年度城里町後期高齢者医療特別会計決算認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成25年度城里町介護保険特別会計決算認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成25年度城里町公共下水道事業特別会計決算認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
平成25年度城里町農業集落排水事業特別会計決算認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成25年度城里町水道事業会計決算認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育予算の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

一般質問

町政を問う

今回1名が質問し、
その要約を掲載しました。

藤 咲 芙美子 議員 …………… 13P

- 小児のマル福、マル特について
- 小中学校教室のエアコン設置について
- 図書館の指定管理制度について





ふじさく 藤咲 議員
ふみこ 芙美子

小児のマル福・マル特について



藤咲 子供の医療費について、県のゼロ歳から小学3年生までの助成に上乗せするかたちで、町は現在、中学3年生までの助成を所得制限なしに実施している。しかし、外来受診料600円2回分の自己負担が残っている。完全無料化とはいえない。完全無料化の考えはあるか。**職務代理者** 次世代育成のため、前向きに検討していきたい。**保険課長** 入院の自己負担も合わせて検討したい。

小中学校教室のエアコン設置について

藤咲 最近の異常気象は子どもの快適な学習環境に支障をきたしている。エアコンの設置を求めたい。**藤咲** 最近の異常気象は子どもの快適な学習環境に支障をきたしている。エアコンの設置を求めたい。**教育長** 平成18年度から扇風機を設置した。エアコンの設置は考えていない。

図書館の指定管理制度について

藤咲 公共図書館には高い公共性と専門性が求められる。「図書館の自由に関する宣言」は、国民の思想・表現の自由を知る権利の保障を高らかにうたっている。この綱領というべき文書からみて、図書館を民間に委託するのはなじまない。そこで聞くが、①この方針はいつ決まったのか、②民間に委託するとなれば継続性、専門性が保持されないのではないか、③利用者のプライバシーが守れるのか、④図書館運営で利益を上げるには人件費の削減をしなければならず、短期の非正規雇用では町の社会教育施設として適切ではないか、このことから指定管理にするのは再考するべきと思うが。

教育長 図書館の指定管理は平成24年9月に行政改革推進本部で方針が出された。指定管理になれば民間のノウハウが生かされ住民サービスの向上が想定できる。

藤咲 民間だと利益追求は人件費の削減によって成り立つ。住民サービスについても、図書館本来の役割から外れる可能性もあるのでは。**教育長** 指定管理にしたときのデメリットはありうる。もう一度図書館運営委員会で検討し慎重に考えたい。



「桂図書館」

追跡

どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか、追跡調査をした。

原子力災害対策（EPZ）について

（平成23年6月定例会）

福島原発圏外自治体でもEPZ圏域拡大を早期に協議していれば、住民の避難は速やかにできたと思う。協議会で圏域拡大の要望をして頂けるか。

EPZとは、原子力防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲です

EPZ圏域拡大について、機会があるごとに発言していく

福島第一原発事故の際、福島県内のEPZ外の自治体でも計画避難が行われたことから、早期の圏域拡大要望が多い。EPZ圏域拡大について、機会があるごとに発言していく。

質問

地域活性化について（交流人口の受入れについて）

（平成23年6月定例会）

町の経済発展には、交流人口を増やすことが必要不可欠。水戸北スマートICや県道城里那珂線の那珂川新橋（仮称）等のインフラ整備が大事であると思うが、どう考えるか。

答弁

各協議会を通じて整備促進の要望活動をしている

水戸北スマートIC・那珂川新橋とも、各協議会を通じて例年県に要望活動をしている。那珂川新橋については、平成20年代中頃の供用を目指すという回答を得ている。

現在の状況は、こうなっています

平成25年3月に城里町の一部区域がUPZ圏域の指定を受けた

現在は、EPZ（原発から半径8～10km圏）から、PAZ（予防的防護措置を準備する区域・半径約5km圏）とUPZ（緊急時防護措置を準備する区域・半径約30km圏）に範囲が拡大され、本町の一部区域については平成25年3月にUPZ圏域の指定を受けた。現在、県において避難計画が策定されており、本町は、栃木県及び群馬県へ避難する計画となっている。今後、避難先の具体的な市町村名が示される予定である。

水戸北SICのフルIC化が新規採択され、那珂西大橋は本年10月に供用開始

常磐道水戸北スマートICについては、国の新たな支援制度創設により、平成26年7月にフルインター化（上下線乗り降り可能）の新規採択が認められ、早期の整備促進が期待される。那珂川新橋については、「那珂西大橋（なかにしおおはし）」として平成26年10月22日に供用開始となり、水戸市・那珂市・城里町の連携強化が期待される。

編集後記

「実りの秋」。
9月21日、町長選挙が行われ、稲作農家にとっては最も忙しい入れの時期。まさに天候に左右され、猫の手も借りたいという状況であった。町の有権者は何に期待し何を願うのか、我々もこの状況を真摯に受け止める必要がある。下から2番目。知名度は最下位。だが、会議する自治体と決わって責任がなかった。問題が、あつた。民にもたしむる。だろ。この方から。町民にも。を。日本史の「若者」改革。な。づくりに努力しなれば。町。ない。に。より。つ。て。更。に。だ。様。に。心。を。も。り。て。い。て。も。更。に。だ。け。る。よう。な。紙。面。で。心。を。結。ぶ。お。待。ち。を。し。て。お。く。り。ま。す。

議会広報委員会
委員長 三村 南
副委員長 関 孝
委員 藤片 余 岡水 条村部
美蔵 紀 誠 孝
子 美 一 之 夫 郎 治 信 一